

No. 73 >>> Contents

●トピックス

- 栃木県の養蚕事情 栃木県農政部生産振興課 主任 大山 亮 ————— ①
- 「コロナ禍での製糸業の現状」 碓氷製糸株式会社 常務取締役 安藤俊幸 ————— ③
- 「パーソルサンクス株式会社の養蚕への取り組み」
 パーソルサンクス株式会社 代表取締役社長 中村 淳
 とみおか繭工房 マネージャー 塩崎 誠 ————— ⑤
- 『絹弦の製作と演奏』について 国産絹箏弦普及の会 代表 徳丸吉彦 ————— ⑦

●蚕糸・絹業団体情報

- 愛媛シルク協議会の活動について 愛媛シルク協議会 河合 崇 ————— ⑨

新規素材用繭飼育希望農家の登録者を募集中！

- 全国シルクビジネス協議会 ————— ⑪

●イベント情報

●一般財団法人大日本蚕糸会から

- 2021 年度第 4 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ————— ⑫
- 純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 ————— ⑮
- 活動日誌 ————— ⑮

●蚕糸絹関係博物館一覧

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

●統計資料

- (統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。) ————— ⑮

栃木県の養蚕事情

栃木県農政部生産振興課

主任 大山 亮

1 本県養蚕業の興亡

本県養蚕業の歴史は、古くは奈良時代まで遡りますが、盛んに行われるようになったのは、現在も本県養蚕業の中心である下都賀地域で「結城蚕種（＝卵）」の製造が始まり、全国的な蚕種製造の主産地となった、江戸時代前期と言われています。

大正期には蚕種製造と養蚕専門技術者の養成を行う原蚕種製造所（後の県蚕業試験場）が設置され、昭和8年には養蚕農家戸数 22,349 戸、桑園面積 7,335ha、収繭量 4,064t に達するなど、本県養蚕業は大きく発展しましたが、戦中の混乱とその後の食糧増産を目的とした桑園減反などにより、昭和21年には養蚕農家戸数 9,078 戸、桑園面積 2,105ha、収繭量 782t と大きく減少しました。

2 本県養蚕指導体制の歴史

明治期までの技術指導は、各地の蚕種製造家の経験と勘に頼るところが大きいものでした。明治20年代以降、蚕種の検査や蚕病予防を目的とした蚕種検査所や蚕病予防事務所が設置されたことや、県立農事試験場（現：県農業試験場）における講習や県立農学校（現：県農業大学校）での教育

など、ヨーロッパや国の試験研究機関の試験研究結果を基にした技術指導が行われるようになったものの、技術指導の中心は依然として養蚕団体の技術員による巡回指導でした。

昭和5年、県は旧西那須野町に「那須蚕業指導所」を、昭和21年には佐野市に「安足蚕業指導所」を設置し、養蚕団体技術員の技術向上を図っていました。その他にも、特別指定養蚕農家への技術・経営改善指導、指導員に対する研修、その他講習会や懇談会、巡回指導の実施に加え、最新の研究成果の“展示ほ”を各地に設置し、技術を各養蚕農家へ浸透させていきました。

昭和22年、国は試験研究成果の迅速な普及と蚕糸業の振興と個別経営の安定化を図るため、産業技術の普及体制の確立を目指し蚕業改良普及制度を発足させました。本県では昭和25年度に「蚕業技術普及員制度」を設定し、技術員を蚕業指導所の蚕業技術普及員として県が委嘱することで、蚕業振興の技術基盤確立を目指しました。蚕業技術普及員は、昭和25～27年に合計205名が委嘱され、養蚕農家の技術と経営の改善に努めていました。

さらには、昭和39年に蚕業改良普及事

業推進要綱が制定され、当初、2ヶ所の指導所・5名の職員で始まった蚕業指導所は、昭和42年には6ヶ所の指導所・27名の職員・44名の嘱託蚕業普及員を数えるまでになりました。

この頃の県蚕糸業全般の問題は、主幹課、蚕業指導所や蚕業試験場等から成る蚕業指導所長会議により方針を決定し、蚕業改良指導員が養蚕・採桑・経営の専門分担毎に技術向上を図り、地域の蚕業技術普及員と連携しながら農家指導に当たりました。しかし養蚕業の急激な減少等により、平成6年度には3ヶ所となっていた蚕業指導所を1ヶ所に統合、普及員数を23人から13人に大幅に削減しました。その後、平成7年に発足した「農業改良普及センター（現：農業振興事務所経営普及部）」に蚕業指導業務が移管され、蚕業指導所は平成6年度末で廃止となりました。

3 本県養蚕業の現状

最盛期には22,349戸（昭和8年）であった養蚕農家戸数は、平成3年には995戸まで減少し、令和2年には19戸となっています。収繭量は平成元年の809tから、令和2年には13.9tとなっています。しかし、養蚕農家1戸当たりの収繭量は、昭和54年663kg、令和2年730kgとなり、昭和8年の181kgと比べると4倍もの戸別収繭量となっており、これは全国平均の2.1倍と非常に高い戸別収繭量となっています。

この高い収繭量を実現したのは、稚蚕期の共同飼育技術の定着と蚕病防除の徹底が

図られたこと、昭和50年代以降の壮蚕飼育の機械装置化および年7回以上の多回育化という大規模で合理的な養蚕技術が県内に定着したためと考えられています。また、昭和62年に蚕業試験場と繭検定所が統合された蚕業センターは、上簇室の面積不足を解消するため簇器をレールで移動させて吊す「簇器スライダー」の開発、施設内の気流を管理するため、本県特産のかんぴょうの強制乾燥技術にヒントを得た農業用大型扇風機の設置など、当時の常識に反する新たな技術の現地実証を行った結果、この気流管理技術を平成8年から「栃木式風洞簇中管理法」として普及を推進し、本県産繭の収量増加と品質向上、収繭作業の省力化など、作業全般の改善に大きく寄与しています。

近年では、本県養蚕農家が有する高い技術力や経営改善の努力が評価され、蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールでは多くの養蚕農家が農林水産大臣賞（令和元年、令和3年）等を受賞しています。また、平成29年に近隣小中学校を統合して開校した小山市立絹義務教育学校では、ふるさと学習カリキュラムの中で「結城紬」を題材とした学習を行うなど、子どもたちに蚕業文化を伝える取組も行われています。

全国的に養蚕業が減少傾向にある中、本県では元気な養蚕農家が活躍中です。また、伝統産業である蚕糸絹業も減少傾向にありますが、県では結城紬を支える後継者育成を図るなどの取組により、伝統文化の継承を支援していく予定です。

「コロナ禍での製糸業の現状」

碓氷製糸株式会社

常務取締役 安藤俊幸

一昨年から「新型コロナウイルス感染症」が日本中に蔓延し、外出自粛、催事等の中止、経済活動の萎縮等で多くの人々の生活に悪影響を及ぼしています。蚕糸・絹業界でも絹織物関係展示会の中止、成人式など式典の多くが自粛や規模の縮小等により和装等絹製品の販売機会が少なくなり、生糸販売量の大幅な減少等を伴い、製糸業も大変な苦境に見舞われています。筆者は、昨年4月に「碓氷製糸株式会社」に入社し約1年経ちました。本稿では純国産生糸製造現場から製糸業等の課題について記してみます。

生糸の需要の確保

近年、生糸の国内需要の多くは、中国産やブラジル産の生糸に置き換わっており、純国産絹の普及等のため、国、（一財）大日本蚕糸会は、純国産生糸、絹製品のブランド化の事業「蚕糸・絹業提携システム構築事業」を推進しています。当社は、国産繭を収納し、純国産生糸のみを製造していますが、前述の新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための行動制限等で生糸の売上げは、コロナ禍の前の半分程度の供給水準となっています。碓氷製糸(株)が今後も安定して経営が継続することが厳しい状況に

あります。多くの絹業者からぜひ純国産生糸の注文をお待ちしております。

優良な生糸生産に必要な繭は確保しております。特に、群馬県では、優良な繭による生糸生産を図り、需要者に安定的に供給することを目的として、夏秋期には、優良な繭生産が図られるよう新しい蚕品種の育成等に取り組んでいます。夏秋期用蚕品種「なつこ」を令和3年から本格的に飼育し、「なつこ」の繭で繰糸した生糸は、絹業者から“良い生糸”と評価を受けています。

製糸器械類の整備と人員の確保

製糸業において、「繰糸工程」が最も重要ですが、新規に導入できるこの工程の器械はありません。当然、修理しながらの対応で、部品の修理・交換など社員による日



繰糸工程



工場内の配管等の整備

常的なメンテナンスが重要な作業となっています。

一方、器械類と同時に、繰糸等に従事する社員の確保が重要な課題です。製糸技術をマスターした人員の計画的な確保と教育が必要です。細やかな作業の連続となる「選繭、煮繭、繰糸、揚げし、仕上げ」と生糸出荷まで一連の作業は専門性が求められ、職場で実務を行いながら社員育成教育を行っています。

原料繭の確保

製糸業には、原料となる「繭」の確保が



工場に入荷された繭

最も重要です。しかし、国内の養蚕農家数、繭生産量は減少が続いています。群馬県では、新規に養蚕従事を希望する方、養蚕に興味のある方に対し、「養蚕学校」を開設し、県蚕糸技術センター職員等の実技指導等を行い、多様な養蚕担い手育成に努めています。この結果、新規養蚕農家や障害者等が養蚕分野で活躍することで社会参画を実現していく取組みの一つである農福連携養蚕企業が誕生するなど、平成26年以降、27の養蚕担い手を育成し繭生産を担ってきています。

繭は十分に確保しております。一方、最近の原油の急激な値上りにより燃料費の負担が増し、生糸製造原価が上昇しています。生糸供給減に加え、ダブルパンチとなっています。ぜひ、関係者の皆様からの英知をいただき、コロナ禍以前の生糸生産の水準に回復していただきたいものです。

蚕種、繭、生糸そして絹織物と一貫した「純国産絹製品」づくりには、何一つ欠けても成り立ちません。これからも優良な純国産生糸の生産に努めてまいります。



選繭作業

「パーソルサックス株式会社の養蚕への取り組み」

パーソルサックス株式会社

代表取締役社長 中村 淳

とみおか繭工房

マネージャー 塩崎 誠

1) 養蚕事業に参入した経緯～障害者雇用の“拘り”～

パーソルサックスは“テンプスタッフ”や“doda”などの人材サービスを展開する総合人材サービスのパーソルグループで障害者雇用を行っている特例子会社です。グループは成長・事業拡大を進めるうえで、障害のある方々がより活躍できる仕事・環境を創ることも重要な課題でした。東京では障害者採用は飽和状態に近かったため、東京の雇用拡大と同時に、東京以外の地域での雇用拡大も検討していました。多様な障害者の活躍で地域社会の課題を解決していくような事業ができないかと考えていました。

新拠点の候補地を群馬県に絞ったのは、2016年当時、群馬県は障害者雇用率が都道府県でワースト2という障害者雇用の課題とともに、“養蚕の継承”という群馬県ならではの課題に気づいたことからでした。そこから、弊社の障害者雇用の取り組みを通じて、上記2つの課題解決に貢献できるのではないかと話を進めていきました。

そもそも初めから富岡市で養蚕事業を始めよう！という計画ではなく、弊社の障害者雇用への“拘り”を貫いた結果として富岡市での養蚕に行き着きました。その拘りとは「ありがとう」をかたちに。”をミッションに掲げ、「障害者が生き活きと活躍する仕事」「地域から応援して頂ける仕事」を大切にすること。グループ名のパーソル（PERSOL）においても、PERSONとSOLUTIONの造語で、“人は仕事を通して成長し、社会の課題を解決する”という想いが込められています。障害者の方々が地域の皆さまと一緒に“はたらいて笑える”ような仕事を考え



給桑

た時に、富岡市や群馬県の方々との想いが一致して、富岡市で養蚕を障害者雇用の仕事が生まれました。

2017年6月、群馬県や富岡市、養蚕関係の皆様との協力を頂き、弊社3か所目の工房として“とみおか繭工房”を設立。工房は少子化で閉園になってしまった旧妙義幼稚園を富岡市からお借りし、都心から離れた地域では初めてとなる事業を立ち上げました。

2) 法人における養蚕業の取り組み内容～労務管理と安全衛生の徹底～

法人として養蚕を仕事とする時に、まず考えた事は“就業時間の管理”や“安全衛生面の配慮”でした。もちろん良質の繭から良い商品を作っていく事は大切な事業目的ですが、組織として養蚕を続けていく為には“仕組み作り”も必要だと考えました。

元来の養蚕業は蚕の育成に合わせて昼夜を問わず、飼育に携わる作業ですが、弊社では8:30～17:30を就業時間とし、障害のある社員（以下メ



選繭

ンバー）は9：00～16：00といった勤務形態で、就業時間内で飼育をしています。桑の葉の量の調節や温度湿度を調整することで、夜間の作業をしなくても飼育できるような方策を探りながら、勤務形態を維持しています。

また、安全衛生面では、各メンバーの障害特性に配慮し、安全安心をモットーに業務を進めております。具体的には作業前には作業道具などの取扱い指導や作業手順書を作成し安定した作業になるような工夫も実施しています。

3) 特例子会社が養蚕業に参入するメリット～多様な障害特性と工程が多い養蚕の相性はグッド～

障害者の方々の適性や強みを活かしチームで仕事をしていく点において、工程が沢山ある養蚕の仕事との相性はとても良いです。例えば、繁忙期の桑の葉を刈り取る作業などは単一的な業務が得意なメンバーに向いています。作業工程を細分化する事で各メンバーの得意な能力が発揮でき「鋏を使った作業が得意なメンバー」や「桑の葉を運搬することが得意なメンバー」をチームの中で組み合わせると、全員でカバーしながら業務を進めていけるので仕事の効率も上がります。また「丁寧な作業が得意なメンバー」は飼育場に置いた桑の葉を均等に並べたり、少しでも多くの桑を食べられるように桑の枝を切るなど、きめ細かい作業を行っています。また、養蚕閑散期の桑園管理業務で一番大変な桑枝の剪定は、60名いる社員全員が桑園いっばいに広がり、作業を1日で終わることができるのも組織だからこそで

きることもかもしれません。一番のポイントはとみおか繭工房のメンバーは作業中によくほかのメンバーとコミュニケーションを取っていることにより、自分がやっている作業状況を確認でき、次の作業の指示を督促したり、疑問があったらすぐに聞いたり、困ったことがあるメンバーに手を差し伸べることができ、特例子会社として障害特性を活かしたチーム業務に相乗効果が出ています。

4) 養蚕業を行うにあたっての課題～業務の標準化・マニュアルの準備～

多様な工程がある養蚕の仕事ですが、飼育や良質な繭の出荷を目指すには、指導スタッフの養蚕の知識や技術の向上や、より多くのメンバーが作業できるように作業を標準化させていく事が必要になります。作業マニュアルや手順書をメンバーに分かりやすく作成して準備をする事と、自然を相手にする業務でもある為、天候（天気、気温、湿度）などを考慮した業務上の判断や対応ができる人材を育成していく必要があると考えています。

5) 今後の展望～

お陰様で2022年6月には事業開始から5年となります。将来に向けて養蚕事業の安定と向上の為に今後二つの事を取り組んでいく予定です。一つは、人工飼料育の通年化です。2022年度から養蚕閑散期にも人工飼料育（人工飼料、インキュベーターを使用した飼育）を実施し社員が通年で養蚕に関われるようにトライアルで挑戦していきます。この取り組みにより、見学や体験を受け入れる機会を増やすことにもなりますので、養蚕に興味を持つ人を増やし、次世代へも養蚕を繋げていく為の活動に貢献できればと考えています。二つ目、シルクの価値を伝える商品開発・販売です。養蚕農家ではなく法人である強みを生かして営業力を発揮し、シルクの機能を活かした6次産業化に本格的に挑戦していきたいと思っています。

これからも弊社は、養蚕という伝統文化を大切にしながら“ありがとう”を“かたちに“していきます。

上がった弦が硬すぎて、演奏に向かないものもありましたが、とにかく多様な種類の蚕から一定の方法で弦を作り、それぞれの種類の蚕の適性を正確に比較しました。

完成した弦については、その切れにくさを物理的な方法で調べるとともに、実際に箏に掛けて判定しました。さらに、様々な弦を箏曲家に使って頂き、音色と弾き易さの判定をお願いしました。こうした作業を数年続けた結果、音色にすぐれ、しかも切れにくい絹の箏弦を作ることができました。

国産の絹箏弦を作っても、使われなければ、箏の伝統的な響きも、また、絹の弦を作る伝統的な技術も失われてしまいます。そこで、絹箏弦による演奏会を開き、さらに箏曲専攻の大学生に絹箏弦を弾く機会を作りました。ところで、箏を弾くためには、箏に弦を掛ける作業（糸締め）が必要です。これには、高度な技と力が必要なので、演奏家ではなく、その専門家（箏屋）が行います。しかし、最近は一般に化学繊維弦が使われるため、専門家でも絹の弦を締めた経験のない人が増えました。そこで、専門家の方に絹弦の張り方のコツを身につけてもらうために、糸締め講習会を東京、名古屋、北九州の3箇所で開催しました。

次に、私たちが考えたのが、『絹弦の製作と演奏』（発行：国産絹箏弦普及の会、2021年3月、写真1）というDVDと解説書を作って、箏曲家や箏曲を学ぶ人たちに見てもらうことでした。

このDVDの内容は以下のとおりです。「1 日本の養蚕文化と箏の弦」で化学繊維弦と



写真2 絹箏弦で演奏する米川敏子師

絹弦の違いとともに新しい絹弦の開発を説明し、「2 繭ができるまで」で養蚕の説明をし、「3 絹弦の製作」で弦の製作過程を丹念に扱いました。そして、絹の弦の糸締め過程を、箏の製作・調整の名人で、この研究に協力して下さった山中正夫氏（光春野村楽器）に実演して頂き、それを「4 糸締め」としてDVDに収めました。最後に、「5 絹弦による演奏」として、最初からこの研究に協力して下さった生田流箏曲家で研箏会家元の米川敏子師（写真2）が、私たちが製作した絹箏弦を使って演奏された《乱れ》の映像を収めました。

現在では99%の箏に化学繊維弦が使われています。そのため、古典的な箏曲の重要な要素であった絹の音色が失われつつあります。古典を伝承するためには、もう一度、多くの演奏者が絹弦の掛けられた箏を使って、音色を意識する必要があります。今回のDVDが古典的な箏曲演奏の復興に役立つことを願っています。DVDに関心のある方は、国会図書館、浜松市楽器博物館にお問い合わせください。

愛媛シルク協議会の活動について

愛媛シルク協議会

河合 崇

はじめに

愛媛県にはシルク産業の基盤として重要な「蚕種製造」「養蚕」「製糸」の施設が現存する、国内でも有数の産業基盤を備えている地域となっています。(公財)えひめ産業振興財団とユナイテッドシルク(株)等が中心となり、シルクを有効かつ多角的に活用する新しいシルク産業の創出を目指し、2019年1月に産学官の連携団体である「愛媛シルク協議会」が設置されました。

「愛媛シルク協議会」は、愛媛県内において繭の生産から加工、関連商品の開発・製造及び販売までを一貫して行える体制を構築し、産学官連携のもとシルクの多方面の活用方法を見出すことにより、新たなシルク産業を創出することを目的として、活動しています。

1. 愛媛シルク

愛媛県のシルク産業を活性化するために、ブランド化が大事と考え、地域団体商標が取得できるように、また、シルク産業に新たな参入する事業者、ステークスホルダーを増やせるように以下の取組みを行っています。

(1) 愛媛シルクのブランディング

「愛媛シルク」をブランド化して展開で



愛媛シルクのロゴ

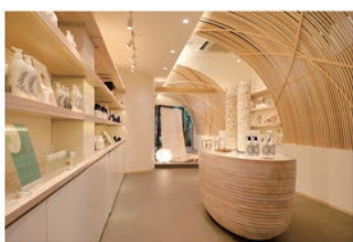
きるよう、愛媛シルクの背景を可視化したグランドデザインを開発し、「愛媛シルクシンボルマーク」として制定しました。

このシンボルマークは、愛媛県産シルクを使った商品開発を行いたい事業者が開発した商品を販売又は販売促進のための広告物等を作成する場合に使用することができます。これにより、愛媛シルクの新たな商品が増えること、並びに、ブランド管理を行うことを考えています。

(2) マーケティング拠点の設置

松山市の中心地 一番町交差点すぐの松山城ロープウェー商店街内に、2021年6月、「愛媛シルクショールーム」を設置しました。

「愛媛シルクショールーム」では、「愛媛シルク」を活用した商品、並びに全国のシ



愛媛シルクショールーム

拠点住所：愛媛県松山市大街道3丁目2番8号

シルク製品の展示・販売を継続的に実施し、シルクについての消費者の声を聞き、消費者ニーズに対応した商品開発を進めるための拠点になります。

また、本拠点にシルク製品のレセプション機能を付与し、商品紹介、受発注、参画企業の獲得等を併せて行うことにより、販路拡大と地域ブランドの確立に寄与しています。

店内には、約500本の「媛ひのき」（愛媛県産材）を贅沢に使用し、養蚕の蚕室をイメージした、繭に包まれたような、心地よい空間でゆったりとシルク商品の魅力を感じながら、購入できる空間としています。

（3）愛媛シルクポータルサイトの開設

2021年10月には、愛媛シルクの歴史、「伝統と革新」、愛媛シルクの魅力について、情報発信を行うポータルサイト（<https://ehime-silk.org/>）を構築しました。

こちらのポータルサイトには、愛媛シルクの魅力を伝える動画として、愛媛県の豊かな自然を背景に、かつて基幹産業であっ

た養蚕業の歴史、現在のシルク事業の取組等を紹介し、地域ブランド構築に向け、愛媛シルクの魅力を伝えるものとなります。

2. シルクサミット 2021 in 愛媛

蚕糸技術の普及と継続、社会ニーズに根ざしたカイコ及びシルクの用途拡大と関連産業の発展、新たなシルク産業の形成・発展等を目的に、全国のシルク産地持ち回りで開催されるシルクサミット。第22回目が愛媛県松山市にて「伝統と革新」をテーマに2021年10月6日に開催されました。愛媛シルクの関係団体では、全国に愛媛シルクを知っていただく大きな機会として、シルクサミット2021in愛媛実行委員会を組織し、シルク産業の活性化や、生産体制の構築、地域を巻き込むコミュニティづくり、愛媛シルクを活用した新商品（繊維製品以外にシルクパン、シルククラフトビール、シルク飴等の食製品まで開発）、SDGsの達成など多角的な価値創出について発表しました。



「シルクサミット 2021in 愛媛」での「愛媛シルク」を使った新商品発表

新規素材用繭飼育希望農家の登録者を募集中！

全国シルクビジネス協議会

全国シルクビジネス協議会は、シルクに関する情報共有、シルク関係者の連携体制の構築等通じて、シルクの様々な分野での利用促進を図ることにより、国産シルクの需要拡大と国内養蚕業の振興、シルク関連産業による地域振興に資することを目的に平成元年に設立されました。

協議会の事業では、蚕品種や遺伝子組換えカイコ等新しい素材の提供と新たな需要創出を目指す動きのマッチングも重要な取組となっていますが、こうした取組に対する農家の確保が容易ではない状況にあります。

このため、双方の希望に対する折衝機会を確保する一環として、新素材に係わる繭飼育に意欲ある農家を募集することとしました。協議会の蚕糸分科会が取組むこととしています。

詳しくは、全国シルクビジネス協議会 HP (<https://japan-silk.org/>)

一般財団法人大日本蚕糸会 HP (<http://www.silk.or.jp/>)

をご覧ください。

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各博物館では臨時閉館やイベントを中止している場合があります。詳細は各 WEB サイトなどでご確認ください。

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「かいこのかみさま —ユニークな姿と切なる願い—」

養蚕は天候や病気の害を受けやすく、古くから養蚕農家は神仏に繭の豊作を祈ってきました。

岡谷には、蚕糸業の発展を祈ってきた信仰の形が石造物をはじめ数多く残されています。蚕糸業に携わる人々の神仏に託す願いをご覧ください。

〈会期〉 2月17日（木）～5月15日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●岡谷蚕糸博物館 収蔵品展

「桑・クワ・くわ —その歴史とめぐみ—」

お蚕さまのえさである桑は、古来から、薬草などにも利用され、葉のみならず枝条、根茎までもがその対象でした。現在に至るまで、その植生や種類などさまざまな研究がなされています。書籍・資料など今回初公開の収蔵品も含め、知られざる桑のワクワクする魅力を伝えます。ご期待ください。

〈会期〉 5月19日（木）～9月11日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 特別展

「桐生織の伝統工芸士展 ～伝統と創造～」

桐生市は昔から「西に西陣（京都）、東に桐生」と称されるほど絹織物が盛んであり、織物の町として日本の織物産業を支えてきました。本展では、桐生織の伝統工芸士の「匠」の技をご覧いただき、歴史や技術の変遷、伝統工芸品「桐生織」の素晴らしさを紹介します。

〈会期〉 4月16日（土）～5月23日（月） 9：30～17：00

休館日：火曜日、5月3日は祝日のため開館

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel： 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 企画展

「百色百型 江戸小紋の世界」

型紙を用いて、繊細な模様が染め抜かれている「江戸小紋」。洒落の効いた遊び心ある多種多様な型。それを染める百色。そこには、様々な意味が込められています。秘められた江戸小紋の魅力を紹介します。

〈会期〉 5月28日（土）～7月11日（月） 9：30～17：00

休館日：火曜日

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel： 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 春の企画展

シルク博物館所蔵品展「紬のきもの」

「紬」は、真綿から引き出した紬糸で織られる絹織物で、糸に太さの違いや節があるため独特の風合いがある。養蚕が行われていた地域では、生糸を生産する過程でできる屑繭や出殻繭を利用して紬を織り、自家用の衣料として用いてきた。農閑余業として生産されるようになった紬は、地域ごとに製法や技術に工夫をかさねられ、やがて特産品として確立、発展していった。江戸時代には、たびたび奢侈禁止令が出されて高価な絹物を着ることが禁止されたが、丈夫で外見も質素な紬は、庶民の利用が許される絹織物として人気を博した。

現在、日本各地で伝統的工芸品として生産されている紬は、手間と技術を要することから高級品となったが、その本質は手仕事が生むぬくもりにあるといえよう。本展では、シルク博物館の所蔵品のなかから、紬の着物や着尺地を展示紹介する。

また、現在では伝承が途絶えてしまった神奈川県津久井地方の紬織物「川和縞」と伝えられる袴（個人蔵）を特別出品する。

〈会期〉 4月23日（土）～6月5日（日） 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

●駒ヶ根シルクミュージアム 第58回特別展

「2022 まゆクラフト作品展」

駒ヶ根シルクミュージアムでは毎年、全国の皆様に向けて公募した繭クラフト作品の展示会を開催しています。今回は通算15回目の「まゆクラフト作品展」です。当ミュージアムで開催する「まゆクラフト作品展」（公募）が、養蚕・繭作りの伝統・文化を伝承するとともに、新たな繭の文化を創造することに、少しでもお役に立てればと考えております。ご観覧くださった皆様の多くに、作り手のアイデア・センスに溢れた作品の素晴らしさを味わっていただき、その感動を共有していただきます。

〈会期〉 4月21日（木）～5月24日（火） 9:00～17:00

休館日：水曜日（5/4は開館）

〈主催〉駒ヶ根シルクミュージアム

〈会場〉駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那482番地

Tel: 0265-82-8381

<https://komagane-silk.com>

E-mail: shiruku@cek.ne.jp

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

信州の作家展 Part3「小岩井紬工房 伝統を繋ぐ・紡ぐ・織る」

会期：令和3年11月18日（木）～令和4年2月13日（日）

開催報告：

昭和23年の創業以来、変わらぬ手織りを行っている上田紬・小岩井紬工房。その三代目の小岩井カリナさん・良馬さん姉弟の展示を行いました。

虹を織るように色彩を自在に操るカリナさんと、伝統を受け継ぎリンゴなどの地域素材を活かした染織を希求する良馬さんの世界が融合した空間となりました。上田紬のでき上がる工程を実際に工房で使う道具で示し、二人の個性あふれる着物作品は、ご来館の皆様の眼を釘付けにしました。

コロナ禍での開催となり、ギャラリートーク・ワークショップの一部が中止となりましたが、上田紬の魅力を知っていただく良い機会となりました。

シルク博物館「2021 たのしいかいこの発表会」

会期：令和3年12月11日（土）～令和4年1月10日（月・祝）

開催報告：

令和3年12月11日（土）から令和4年1月10日（月・祝）まで開催した「たのしいかいこの発表会」では、幼稚園・保育園児や小学生から数多くの作品をご出品いただき、蚕についての研究や観察記録、まゆ・生糸を使った工作等、さまざまな作品の発表の場となった。

園や学校で育てただけでなく、夏休みの自由研究として蚕を飼育研究した作品も多く見受けられ、子どもたちが蚕という生物に興味や愛情をもって真剣に向き合ったことが感じられた。

また12月19日（日）に開催した表彰式にもたくさんの出品者にご出席いただき、一年を通して蚕について深く学ぶ「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成としてふさわしい展示会となった。

群馬県立日本絹の里 特別展「齋藤定夫展 ～伊勢崎に機音を鳴らし続ける～」

会期：令和3年12月18日（土）～令和4年2月6日（日）

開催報告：

齋藤定夫さんは、1943年に伊勢崎の機屋に生まれ、家業を手伝いながら研鑽を積み、独立して織物業を営んできました。現在では、「括り緋」「板締め緋」の工程の全てを自ら行い、生徒にも惜しみなくその技術を教え、伊勢崎緋の継承に努めています。

本展では、齋藤さんがこれまでに制作した逸品を紹介するとともに、新作や制作工程の映像、生徒作品など約50点を紹介しました。齋藤さん自身が毎日解説を行い、来館者からは、「とても繊細な色・柄に感激した」「ご本人にお話を伺えて嬉しかった」「人の手でなんと素晴らしい作品が出来上がるのかと感動した」などの感想が寄せられました。

2021 年度第 4 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2021 年度第 4 次審査委員会を 2022 年 2 月 21 日(月)に開催しました。今回の申請は 4 者で、使用許諾されている 4 者のうち製品の追加 2 者 2 品目、履歴の追加 2 者 3 品目、数量の追加 3 者 3 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、4 者 8 品目に対し、2 月 28 日(月)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
窪田織物(株) 代表者名：窪田政幸 (担当者：大迫孝一) 〒 891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町 13-12 TEL：099-208-5855 表示者登録番号 213	(製品の追加) 先染反物 (本場大島紬(15 マルキ))	20 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 富岡シルクブランド協議会 製糸 碓氷製糸(株) 染織 自社
	(数量の追加) 先染反物 (本場大島紬(12 マルキ))	140 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 富岡シルクブランド協議会 製糸 碓氷製糸(株) 染織 自社
(株)千總 代表者名：仲田保司 (担当者：大月恵美) 〒 604-8166 京都市中京区三条通西入御倉町 80 TEL：075-211-2531 表示者登録番号 001	(製品の追加) 後染反物 (色無地(五枚朱 子))	150 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 (株)竹林 染色加工 自社
	(数量の追加) 後染反物(訪問着 ・色留袖(変り一 越))	145 反	繭生産 福島県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 河藤(株) 染色加工 自社
	(履歴の追加) 後染反物 (色無地(紋意匠))	230 反	繭生産 山形県・宮城県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 田勇機業(株) 染色加工 自社
	(履歴の追加) 後染反物 (訪問着(紋意匠))	120 反	繭生産 山形県・岩手県内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 田勇機業(株) 染色加工 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) (有) 内海呉服店 代表者名：内海康治 (担当者：内海康治) 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-28-1 TEL：03-3482-0039 表示者登録番号 121	白生地（紋意匠）	25 反	蚕品種 春嶺×鐘月、錦秋×鐘和 繭生産 長田誠一、内野敏男、荒井晴生 製 糸 (株) 宮坂製糸所 製 織 田勇機業（株）
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒542-8510 大阪府中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物 (振袖(5枚朱子))	8 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 (株) 竹林 染色加工 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2022 年度第 1 次：2022 年 5 月 23 日（月）
純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2022 年 4 月 25 日（月）

(連絡先)
〒100-0006
東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階
一般財団法人 大日本蚕糸会
担当：岡島、小林、廣瀬
TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511
E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp
小林：kobaei@silk.or.jp
廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp

☆お知らせ☆

2022 年 4 月より純国産絹マークに関する規程の一部が改正されました。
詳しくは（一財）大日本蚕糸会ホームページをご覧ください。

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2022年2月28日（2021－第4次）現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服）、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀二一、上州絹星・ぐんま 200、新小石丸）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袱紗）
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯、袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）、先染反物（御召類）、後染反物（色無地）、先染帯地（袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖）、後染帯地、白生地（表地）
029	(株) むらかぬ	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榎屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井絞 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー (手織り)
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、 パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、 服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗、ネクタイ、帯地 (白塩瀬))
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織)、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛)、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大酬	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

月日	活 動 内 容 等
2/1	全国シルクビジネス協議会幹事会 (WEB 会議)
2/2	若手養蚕農家との意見交換会 (WEB 会議)
2/21	純国産絹マーク審査会 (WEB 会議)
3/10	全国シルクビジネス協議会事業検討委員会 (リアル・WEB 併用会議)
3/23	大日本蚕糸会通常理事会及び臨時評議員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館 “紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイトワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静海市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業 (株) 内	0772-72-0307
上垣守国 (うえがきもりくに) 養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580

名 称	〒	住 所	電 話
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後繊維工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京繊維物卸商業組合)
KOMOS (京都繊維物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫学研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府繊維・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 <http://www.silk.or.jp>

【学会】

日本シルク学会 <http://jsst.sakura.ne.jp>
(一社) 日本蚕糸学会 <http://jsss.or.jp>
日本野蚕学会 <http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館 <https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
群馬県立日本絹の里 <http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
愛媛県西予市野村シルク博物館 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
東京農工大学科学博物館 <http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館

<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014011400979>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県立世界遺産センター
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	34
(2) 養蚕農家数の推移	35
(3) 繭生産数量の推移	36
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	37
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	38
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	39
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	40
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	41
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	42
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	43
(11) 製糸工場の原料繭需給	44
(12) 製糸工場の操業状況	45
(13) 生糸在庫数量の内訳	46
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	47
(15) 生糸の原産国別輸入数量	48
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	49
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	50
(18) 絹織物生産数量	51
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	52

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	54
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	55
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	56

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	—	—	—	0.2	7	20	—	—
前年比 (%) 2021/2020	—	—	—	100.0	87.5	64.5	—	—

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

- ・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
- ・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
- ・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織機物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

- ・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)
- ・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)
- ・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit：number)

項 目 年 間 春 蚕 初秋蚕 晩秋蚕 暦 年 Item Annual total Spring silk-worm Early autumn silk-worm Late autumn silk-worm Calendar Year				
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	204	129	188
前年比(%)				
2020/2019	86.4	87.6	84.3	83.9

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 暦年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕
	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	355	153	144	158
2020	80	31	19	30	350	151	148	158
前年比 (%) 2020/2019	87.0	88.6	86.4	85.7	98.5	98.8	102.9	99.8
2020年 構成比 (%)	100.0	38.8	23.8	37.5				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(4)蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures

(単位:戸、%)

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年 間		
	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比
青森県	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
岩手県	8	7	87.5	9	6	66.7	10	9	90.0	11	9	81.8
宮城県	7	8	114.3	7	5	71.4	10	9	90.0	11	11	100.0
山形県	5	4	80.0	3	—	—	3	2	66.7	5	4	80.0
福島県	27	20	74.1	25	22	88.0	28	22	78.6	33	25	75.8
茨城県	6	4	66.7	6	3	50.0	5	5	100.0	7	5	71.4
栃木県	20	19	95.0	14	14	100.0	20	19	95.0	21	19	90.5
群馬県	91	75	82.4	55	47	85.5	83	71	85.5	98	83	84.7
埼玉県	18	17	94.4	13	14	107.7	17	13	76.5	19	17	89.5
千葉県	4	3	75.0	1	2	200.0	4	4	100.0	4	4	100.0
東京都	3	2	66.7	—	—	—	2	1	50.0	3	2	66.7
山梨県	7	8	114.3	3	2	66.7	7	4	57.1	9	9	100.0
長野県	12	12	100.0	8	5	62.5	11	10	90.9	14	13	92.9
岐阜県	8	6	75.0	—	—	—	7	6	85.7	9	7	77.8
愛知県	1	1	100.0	—	—	—	1	—	—	1	1	100.0
滋賀県	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
兵庫県	1	1	100.0	—	—	—	—	—	—	1	1	100.0
愛媛県	8	10	125.0	5	5	100.0	8	9	112.5	9	10	111.1
熊本県	2	2	100.0	—	—	—	2	2	100.0	2	2	100.0
宮崎県	2	3	150.0	1	2	200.0	3	2	66.7	3	3	100.0
鹿児島県	3	2	66.7	2	2	100.0	3	—	—	3	2	66.7
全国計	233	204	87.6	153	129	84.3	224	188	83.9	264	228	86.4

資料:(一財)大日本蚕糸会

Source: The Dainippon Silk Foundation

(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量

Cocoon production by prefectures

(単位：kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比
青森県	-	-	—	70.7	-	-	-	-	-	70.7	-	-
岩手県	837.7	796.4	95.1	1,190.9	618.5	51.9	1,315.2	838.4	63.7	3,343.8	2,253.3	67.4
宮城県	1,086.1	1,043.9	96.1	1,062.3	1,008.0	94.9	1,300.1	951.8	73.2	3,448.5	3,003.7	87.1
山形県	877.7	933.9	106.4	446.7	-	-	931.2	441.7	47.4	2,255.6	1,375.6	61.0
福島県	4,422.9	4,253.9	96.2	4,221.1	4,489.2	106.4	4,860.7	4,959.8	102.0	13,504.7	13,702.9	101.5
茨城県	1,004.1	582.7	58.0	719.4	368.7	51.3	1,037.1	723.1	69.7	2,760.6	1,674.5	60.7
栃木県	5,455.2	5,114.9	93.8	2,890.9	2,526.7	87.4	6,871.0	6,228.3	90.6	15,217.1	13,869.9	91.1
群馬県	13,657.0	10,898.4	79.8	7,960.0	6,810.8	85.6	12,518.6	10,363.1	82.8	34,135.6	28,072.3	82.2
埼玉県	2,558.0	2,326.1	90.9	1,227.0	1,364.6	111.2	2,014.2	1,666.3	82.7	5,799.2	5,357.0	92.4
千葉県	484.5	448.0	92.5	161.3	221.3	137.2	394.5	439.4	111.4	1,040.3	1,108.7	106.6
東京都	134.0	113.4	84.6	-	-	-	78.6	41.8	53.2	212.6	155.2	73.0
山梨県	1,620.3	1,203.8	74.3	394.8	274.0	69.4	1,104.2	548.0	49.6	3,119.3	2,025.8	64.9
長野県	998.2	1,063.3	106.5	736.9	534.9	72.6	1,122.0	879.1	78.4	2,857.1	2,477.3	86.7
岐阜県	438.9	469.1	106.9	-	-	-	316.4	267.5	84.5	755.3	736.6	97.5
愛知県	36.6	36.5	99.7	-	-	-	18.2	-	-	54.8	36.5	66.6
滋賀県	-	16.0	-	-	-	-	-	-	-	-	16.0	-
兵庫県	35.0	35.6	101.7	-	-	-	-	-	-	35.0	35.6	101.7
愛媛県	1,150.9	1,323.2	115.0	1080.5	793.4	73.4	994.3	1,235.4	124.2	3,225.7	3,352.0	103.9
熊本県	47.0	62.8	133.6	-	-	-	73.8	73.0	98.9	120.8	135.8	112.4
宮崎県	53.9	135.9	252.1	31.7	49.1	154.9	127.6	63.5	49.8	213.2	248.5	116.6
鹿児島県	72.0	31.0	43.1	41.5	42.0	101.2	57.5	-	-	171.0	73.0	42.7
全国計	34,970.0	30,888.8	88.3	22,235.7	19,101.2	85.9	35,135.2	29,720.2	84.6	92,340.8	79,710.2	86.3

資料：(一財)大日本蚕糸会

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item	Year	2018年 (平成30年)		2019年 (令和1年)		2020年 (令和2年)		2021年 (令和3年)	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦 秋 × 鐘 和		1,575	20.3	2,115	34.9	1,593	29.9	1,630	36.3
春 嶺 × 鐘 月		900	11.6	1,094	18.1	1,274	23.9	884	19.7
ぐ ん ま 2 0 0		793	10.2	643	10.6	669	12.6	616	13.7
錦 秋 1 号 × 鐘 和 1 号		2,496	32.2	781	12.9	520	9.8	339	7.6
春 嶺 1 号 × 鐘 月 1 号		715	9.2	383	6.3	302	5.7	220	4.9
な つ こ				6	0.1	216	4.1	153	3.4
新 小 石 丸		138	1.8	115	1.9	81	1.5	122	2.7
緑 繭 2 号		106	1.4	75	1.2	95	1.8	106	2.4
ぐ ん ま 細		66	0.9	80	1.3	54	1.0	71	1.6
かいりょう × あけぼの		89	1.1	87	1.4	95	1.8	68	1.5
松 岡 姫		272	3.5	171	2.8	85	1.6	55	1.2
小 石 丸		29	0.4	26	0.4	56	1.1	48	1.1
プ ラ チ ナ ボ ー イ		51	0.7	52	0.9	51	1.0	41	0.9
朝 日 × 東 海		29	0.4	26	0.4	15	0.3	28	0.6
白 繭 細 1 号		57	0.7	45	0.7	52	1.0	21	0.5
玉 小 石		14	0.2	25	0.4	24	0.5	17	0.4
ぐ ん ま 黄 金		56	0.7	27	0.4	9	0.2	12	0.3
青 熟 × C 5 ・ 505		6	0.1	6	0.1	11	0.2	10	0.2
奄 美 黄 金		6	0.1	7	0.1	10	0.2	10	0.2
お り ひ め				12	0.2	12	0.2	9	0.2
極 細 3 号							0.0	9	0.2
黄 白		8	0.1	8	0.1	8	0.2	8	0.2
青 熟 × C 5 ・ C 6		26	0.3	10	0.2	10	0.2	5	0.1
MCS107 × セヴェンヌ白		18	0.2	155	2.6	60	1.1	4	0.1
N5 ・ N6 × T Y 4 0		8	0.1	5	0.1	4	0.1	3	0.1
白 麗		66	0.9	60	1.0	20	0.4		
蚕 技 研 11 号		37	0.5	17	0.3				
大 寶 × 黄 金		45	0.6	15	0.2				
上 州 絹 星		9	0.1	14	0.2				
改 良 小 石 丸		77	1.0						
い ろ ど り		46	0.6						
青 熟 × 支 21 号		11	0.1						
秋 光 × 竜 白		3	0.0						
太 平 × 長 安		1	0.0						
合 計 Total		7,753	100.0	6,060	100.0	5,326	100.0	4,489	100.0

資料: (一財)大日本蚕糸会

Source : The Dai nippon Silk Foundation

備考 : 「おりひめ」は2019年にQL26×BLG5として表記されていたものである。

Remarks : ORIHIME was displayed as QL26×BLG5 in 2019.

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	0	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2020 - 1	20	549	0	588	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	166	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	750	1,342	962	37	262	398
4	23	—	0	134	1,231	662	15	233	307
5	16	280	0	242	1,285	854	10	244	223
6	14	209	0	146	1,362	422	3	169	227
7	15	24	0	97	1,304	283	11	256	268
8	11	55	0	100	1,270	249	4	121	239
9	9	73	0	151	1,201	308	4	214	333
10	16	101	0	142	1,176	215	7	181	346
11	15	63	0	149	1,105	305	11	247	333
12	22	283	0	344	1,066	487	9	146	308
2021 - 1	11	123	0	141	1,059	428	6	273	286
2	14	118	0	175	1,016	504	4	199	299
3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
4	12	5	0	121	885	451	5	253	363
5	12	506	0	479	924	460	20	202	351
6	13	178	0	200	915	619	13	251	377
7	13	266	0	303	891	772	12	242	281
8	12	244	0	234	913	585	9	188	198
9	12	389	0	470	844	433	9	251	231
10	14	219	0	236	841	451	14	216	390
11	18	323	0	313	869	480	21	231	306
12	13	322	0	336	868	614	24	218	390
2022 - 1	12	379	0	436	823	588	2	264	233

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk					
		計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year							
2015		378	0	146	86	36	110
2016		317	0	98	103	38	78
2017		339	0	107	95	53	84
2018		339	0	106	104	65	63
2019		269	1	102	46	30	90
2020		203	1	51	76	4	71
2021		160	0	39	52	10	59
2020 -	1	20	—	4	11	0	5
	2	23	—	7	9	0	7
	3	19	—	8	5	0	6
	4	23	—	9	4	2	8
	5	16	—	1	6	2	7
	6	14	—	4	5	0	5
	7	15	—	2	7	0	6
	8	11	1	1	5	0	4
	9	9	—	1	4	0	4
	10	16	—	6	1	0	9
	11	15	—	6	4	0	5
	12	22	—	2	15	0	5
2021 -	1	11	—	6	0	0	5
	2	14	—	4	3	0	7
	3	16	—	5	6	0	5
	4	12	—	6	2	0	4
	5	12	—	2	5	0	5
	6	13	—	1	8	0	4
	7	13	—	2	5	0	6
	8	12	—	3	5	0	4
	9	12	—	1	7	2	2
	10	14	—	1	5	2	6
	11	18	—	3	5	3	7
	12	13	—	5	1	3	4
2022 -	1	12	—	4	4	1	3

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会(2010.4～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association (2010.4～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks: Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	171	45	0	126	3	6	6	111	126	24	0	0	8	16	102	45
前年比 (%) 2021/ 2020	94	100	—	92	150	100	100	90	92	90	—	—	100	85	93	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

（単位：千俵）

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2017	2018	2019	2020	2021	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		1.7	1.3	1.5	1.1	0.8	74.4	0.9
	女子用外衣類 Women's upper garments		81.2	86.7	85.1	78.4	69.3	92.1	63.6
	うちブラウス Blouse of the inside		0.9	0.3	0.7	0.6	0.8	89.2	0.5
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		2.2	0.6	2.3	1.8	1.8	79.8	1.5
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		22.1	23.1	20.5	20.3	21.1	99.0	16.5
	ハンカチ Handkerchief		0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	50.0	0.1
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		1.4	0.3	0.0	0.0	0.0	—	—
	ネクタイ類 Ties		10.5	1.4	6.2	3.3	3.0	53.2	2.7
	メリヤス、クロセス編物 Knit.kurose knitting		11.1	3.9	3.6	3.9	4.4	107.0	3.2
その他の洋装類 Other western clothes			14.8	13.7	14.1	11.5	10.8	81.6	9.3
洋装類計 Western clothes subtotal			145.3	131.1	133.4	120.3	114.5	90.2	97.6
和装類計 Japanese clothes subtotal			13.9	1.2	0.9	0.9	0.9	96.4	0.7
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessories of the inside			12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
その他 Others			2.6	2.9	2.3	2.0	2.2	86.0	1.6
合 計 Total			161.8	135.2	136.7	123.2	111.4	90.1	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」

注）：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance “Trade Statistics”

Note：Total may not added up due to round off.

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭・t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2021		55	57	67
2020 -	1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59
	10	24	6	77
	11	5	6	76
	12	1	8	69
2021 -	1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54
	4	0	4	50
	5	0	4	46
	6	14	5	55
	7	6	5	56
	8	10	5	61
	9	3	5	59
	10	19	5	73
	11	4	7	70
	12	1	4	67
2022 -	1	0	4	62

資料：農林水産省生産局(～2010. 3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～2012. 11)

中央蚕糸協会(2012. 12～2018. 10) (一財)大日本蚕糸会(2018. 11～)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～2012. 11).

Central Raw Silk Association (2012. 12～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
2015		8	110	33	30	263	53
2016		8	110	29	26	267	55
2017		8	110	31	28	266	59
2018		8	74	34	46	253	57
2019		8	74	27	36	239	51
2020		8	74	23	31	218	48
2021		7	74	15	20	214	43
2020 -	1	7	74	32	43	19	50
	2	7	74	26	35	20	49
	3	7	74	27	36	22	49
	4	7	74	29	39	20	50
	5	7	74	27	36	15	50
	6	8	74	19	26	14	53
	7	8	74	17	23	22	52
	8	6	74	17	23	14	38
	9	6	74	15	20	19	37
	10	6	74	9	12	22	37
	11	7	74	27	36	14	48
	12	7	74	28	38	17	48
2021 -	1	6	74	16	22	14	38
	2	6	74	21	28	14	38
	3	6	74	21	28	18	35
	4	6	74	15	20	16	35
	5	6	74	13	18	15	35
	6	7	74	12	16	22	37
	7	7	74	12	16	22	37
	8	7	74	7	9	17	37
	9	7	74	12	16	18	43
	10	7	74	12	16	22	44
	11	7	74	18	24	17	43
	12	7	74	16	22	19	43
2022 -	1	6	74	10	14	15	43

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
	2015	1,410	94	1,316	
	2016	1,406	130	1,276	
	2017	1,747	156	1,591	
	2018	1,330	230	1,100	
	2019	1,429	238	1,191	
	2020	1,066	178	888	
	2021	868	170	698	
2020 -	1	1,410	196	1,214	
	2	1,391	178	1,213	
	3	1,342	178	1,164	
	4	1,231	186	1,045	
	5	1,285	194	1,091	
	6	1,362	181	1,181	
	7	1,304	181	1,123	
	8	1,270	180	1,090	
	9	1,201	170	1,031	
	10	1,176	166	1,010	
	11	1,105	168	937	
	12	1,066	178	888	
2021 -	1	1,059	182	877	
	2	1,016	183	833	
	3	989	189	800	
	4	885	183	702	
	5	924	186	738	
	6	915	186	729	
	7	891	184	707	
	8	913	185	728	
	9	844	182	662	
	10	841	174	667	
	11	869	175	694	
	12	868	170	698	
2022 -	1	823	163	660	

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(14) 蚕糸関係品目別輸入状況

Breakdown of Silk-Related Products Imports

	単位 Unit	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021/2020 (%)
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	6,546	7,560	5,038	4,852	2,443	3,067	125.5
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	12,094	14,560	11,092	10,920	6,226	6,136	98.6
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	41	39	18	22	12	18	150.0
繭 Cocoon	kg	7,000	6,400	7,000	5,000	3,400	2,400	70.6
くず繭 Waste Cocoon	kg	4,602	6,289	6,829	982	1,818	5,274	290.1
その他の絹くず Other Silk Waste	kg	53,737	57,361	89,045	24,629	47,904	114,521	239.1
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	58,339	63,650	95,874	25,611	49,722	119,795	194.1
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	331,100	320,022	286,235	251,731	180,505	234,643	130.0
絹紡純糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	121,788	118,382	149,274	123,741	109,845	131,126	119.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	5,206,131	4,896,980	4,150,559	3,893,201	2,551,036	2,753,029	107.9

資料：財務省関税局

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,294 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2021	3,067 (31)	1,852 (25)	1,182 (5)	—	—	—
2020 - 1	549 (1)	333	216 (1)	—	—	—
2	124	5	119	—	—	—
3	682 (11)	408 (7)	274 (4)	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	280 (10)	62 (10)	218	—	—	—
6	209	125	84	—	—	—
7	24 (3)	19 (3)	5	—	—	—
8	55	32	23	—	—	—
9	73	13	60	—	—	—
10	101 (5)	65 (5)	36	—	—	—
11	63	63	—	—	—	—
12	283	168	111	—	—	4
2021 - 1	123	57	66	—	—	—
2	118	108	10	—	—	—
3	371 (5)	260	111 (5)	—	—	—
4	5	5	—	—	—	—
5	506 (10)	363 (10)	143	—	—	—
6	178 (5)	134 (5)	45	—	—	—
7	266	197	70	—	—	—
8	244	119	125	—	—	—
9	389	263	126	—	—	—
10	219 (5)	82 (5)	137	—	—	—
11	323 (5)	193 (5)	129	—	—	—
12	322	96	226	—	—	—
2022 - 1	379 (8)	253 (8)	115	—	11	—

資 料 : 財務省関税局

備考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year&Month	国 名 Country	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2015		14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016		12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017		14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018		11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019		10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020		6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2021		6,136	3,472	2,217	2	0	442	3
2020 -	1	1,178	715	348	1	—	114	—
	2	303	20	240	0	—	43	—
	3	962	536	329	1	—	96	—
	4	662	345	226	0	—	91	—
	5	854	544	256	—	—	53	—
	6	422	271	115	—	0	35	—
	7	283	187	96	0	—	—	—
	8	249	141	95	—	—	14	—
	9	308	141	105	—	—	60	1
	10	215	89	90	1	—	35	—
	11	305	206	99	—	—	—	—
	12	487	322	124	—	—	40	—
2021 -	1	428	227	145	—	—	55	—
	2	504	308	196	1	—	—	—
	3	339	241	73	—	0	26	—
	4	451	298	153	—	—	—	—
	5	460	226	144	—	—	90	—
	6	619	437	172	0	—	10	—
	7	772	311	461	—	—	—	—
	8	585	401	113	0	—	71	—
	9	433	207	195	—	—	30	0
	10	451	231	188	1	—	30	0
	11	480	318	134	—	—	25	3
	12	614	266	243	—	—	105	—
2022 -	1	588	353	220	—	—	15	—

資料：財務省関税局

備考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵、円/Kg
Unit: bale of 60kg, yen/kg

項目 Item 年月 Year & Month	輸入生糸（通関ベース）				輸入絹糸（通関ベース）					
	Raw Silk Imprt				Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦年 Calendar Year										
2015	5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016	5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017	5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018	3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019	3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020	1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2021	1,852	7,096	1,183	6,390	3,472	7,177	442	7,154	2,217	6,676
2020 - 1	333	6,793	215	6,713	715	6,907	114	7,455	348	6,629
2	5	6,244	119	6,668	20	6,862	43	7,270	240	6,778
3	401	6,477	270	6,585	536	6,870	96	7,552	329	6,802
4	—	—	—	—	345	6,792	91	7,619	226	6,818
5	52	6,859	218	6,553	544	6,488	53	7,540	256	6,679
6	125	6,010	84	6,787	271	6,564	35	7,416	115	6,660
7	16	6,259	5	6,523	187	6,338	—	—	96	6,772
8	32	5,402	23	6,800	141	5,729	14	7,614	95	6,625
9	13	6,090	60	6,864	141	5,687	60	7,604	105	6,781
10	60	5,280	36	6,752	89	5,250	35	7,242	90	6,057
11	63	5,390	—	—	206	5,836	—	—	99	6,584
12	168	5,414	111	5,930	322	5,244	40	6,677	124	5,587
2021 - 1	57	5,431	66	5,894	227	5,546	55	6,763	145	6,045
2	108	5,577	10	4,033	308	5,835	—	—	196	5,911
3	260	5,940	106	5,691	241	6,259	25	6,392	73	5,826
4	5	6,397	—	—	298	6,330	—	—	153	5,845
5	353	6,519	143	5,982	226	6,488	90	6,817	144	5,918
6	129	7,127	45	6,258	437	7,156	10	6,827	172	6,630
7	197	7,345	70	5,968	311	7,354	—	—	461	6,567
8	119	7,962	125	6,079	401	7,456	71	6,982	113	7,099
9	263	8,155	126	6,168	207	8,408	30	7,096	195	6,973
10	77	7,150	137	6,783	231	8,145	30	7,546	188	7,387
11	188	8,174	129	6,863	318	8,316	25	7,597	134	8,041
12	96	8,390	226	7,167	266	8,736	105	7,773	243	7,395
2022 - 1	245	8,104	115	7,528	353	8,346	15	8,423	220	7,713

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F価格である。

Source : The customs Bureau ,Ministry of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位 : 1,000m²)

(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2020 - 1	123	67	42	2	23	37	16	21	19
2	122	63	43	2	17	40	19	21	19
3	131	69	48	2	19	42	19	23	20
4	121	66	44	2	20	38	20	19	17
5	87	51	37	1	13	24	12	12	12
6	87	53	33	2	18	25	11	13	9
7	88	56	33	0	22	25	11	14	7
8	71	44	32	0	12	21	9	12	6
9	85	48	35	0	13	27	13	13	10
10	90	52	36	1	15	27	12	15	11
11	101	63	38	1	24	28	12	15	9
12	108	65	37	1	27	29	12	17	13
2021 - 1	90	56	38	1	18	25	9	16	9
2	95	59	40	1	18	26	10	16	9
3	98	57	43	1	13	30	10	19	12
4	106	64	50	0	13	29	11	17	14
5	109	71	48	1	22	27	11	16	11
6	123	79	51	0	28	29	11	18	14
7	109	69	52	1	16	29	10	19	10
8	97	58	46	0	12	27	10	17	11
9	111	70	53	1	15	29	11	18	13
10	118	75	54	1	20	28	11	17	14
11	131	89	54	1	34	29	11	18	13
12	133	93	57	1	35	29	11	17	11
2022 - 1	104	71	51	0	19	22	7	15	12

資料 : (一社) 日本絹人織織物工業会(～2020. 6) 経済産業省生産動態統計 (2020. 8～)

備考 : 1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 絹織物生産数量の数量は2018年～2021年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020. 6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020. 8～)

Remarks : 1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. As for the production quantity of silk fabrics, data in the year between 2018 and 2021 have been corrected.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item 年月 Year & Month	絹織物生産数量		丹 後 Tango		長 浜 Nagahama		西 陣 Nishijin	
	数量	前年(月)比	生産数量	前年(月)比	生産数量	前年(月)比	推定出荷数量	前年(月)比
	Quantity	Ratio to	Production	Ratio to	Production	Ratio to	Estimated	Ratio to
	(千㎡)	previous	(反)	previous	(反)	previous	Shipments	previous
	(1,000㎡)	year	(Roll)	year	(Roll)	year	(本)	year
暦 年								
Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021			153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2020 - 1	123	79.3	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	122	71.4	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	131	80.8	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	121	69.4	18,393	78.9	1,172	44.8	20,179	59.7
5	87	49.6	12,661	85.6	669	26.5	11,341	34.2
6	87	52.1	9,326	36.0	690	27.3	21,317	61.0
7	88	53.9	8,532	39.9	361	15.3	18,561	65.4
8	71	52.6	7,147	42.0	613	33.9	16,344	57.7
9	85	56.9	10,011	41.1	451	20.6	20,505	60.3
10	90	55.1	10,443	54.4	645	32.1	24,142	85.1
11	101	60.5	11,523	50.1	874	47.3	24,658	82.2
12	108	68.9	11,334	51.9	619	36.9	24,280	79.1
2021 - 1	90	73.3	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2	95	77.5	11,810	54.2	910	53.3	20,969	81.0
3	98	74.7	11,526	64.0	1,129	63.0	26,690	92.8
4	106	87.5	14,265	77.6	755	64.4	25,705	129.1
5	109	125.0	11,586	91.5	952	142.3	24,566	215.7
6	123	141.4	13,201	141.6	870	126.1	29,082	136.5
7	109	123.2	14,672	172.0	938	259.8	24,811	133.7
8	97	136.0	10,040	140.5	1,072	174.9	24,161	147.8
9	111	131.0	13,545	135.3	1,092	242.1	24,360	118.8
10	118	130.9	15,194	145.5	1,038	160.9	26,324	107.9
11	131	130.3	13,557	117.7	1,463	167.4	26,748	108.5
12	133	123.2	14,301	126.2	1,329	214.7	29,272	120.9
2022 - 1	104	115.2	10,399	104.7	983	127.2	22,277	113.5
2			12,746	107.9	982	107.9		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 2018年～2021年分までデータ補正がある。

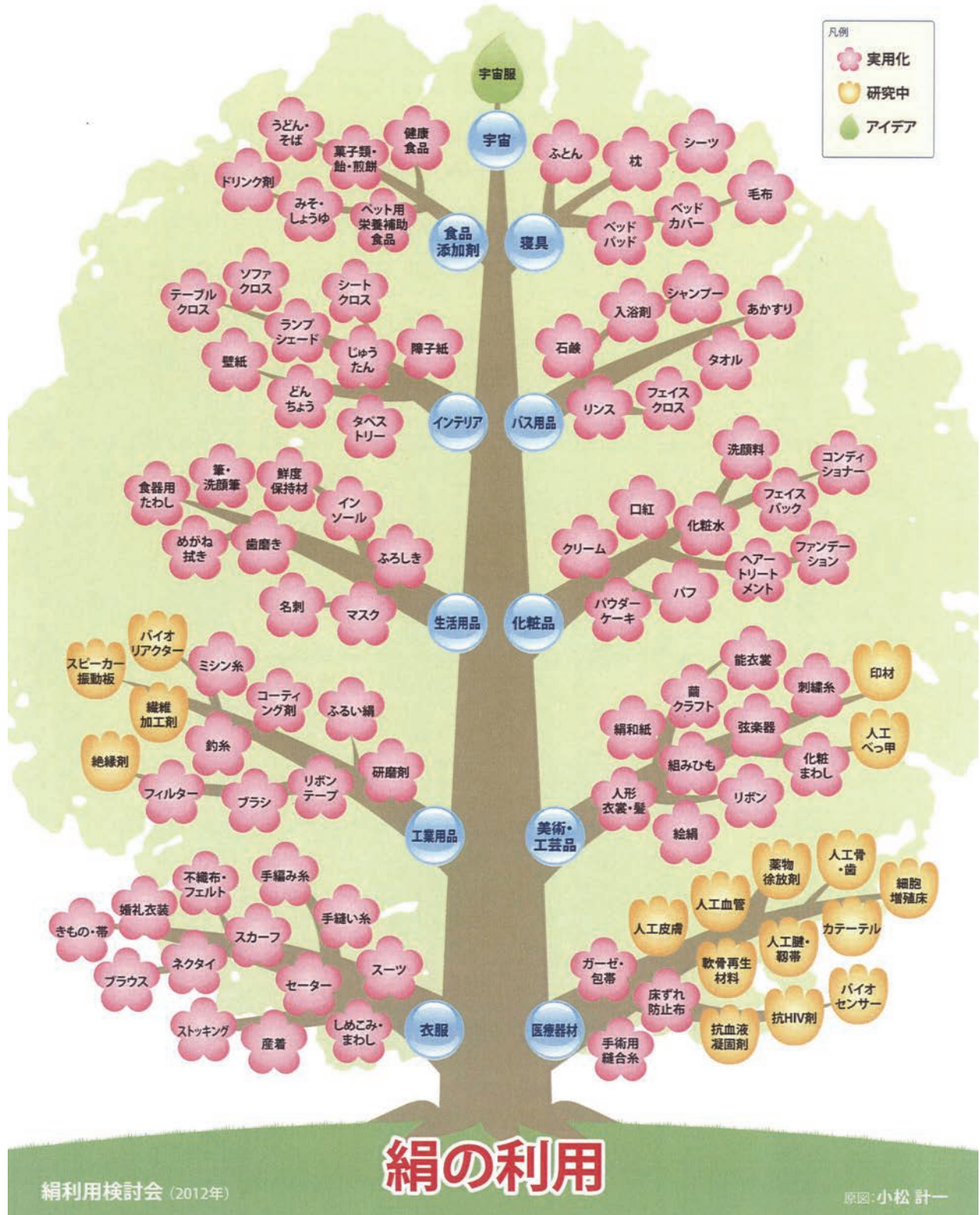
Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by sheir local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The data in the year between 2018 and 2021 have been corrected.

絹利用の系統樹



－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2015年	2016年	2017年
日本	Japan	トン 135	トン 130	トン 125
中国	China	628,000		
インド	India	151,787	155,688	161,684
ウズベキスタン	Uzbekistan	27,237		
イラン	Iran	12,538		
タイ	Thailand	4,881		
ブラジル	Brazil	2,870	2,913	2,995
ベトナム	Vietnam	2,515		
北朝鮮	North Korea	937		
トルコ	Turkey	75		
ブルガリア	Bulgaria	65		
インドネシア	Indonesia	57		
シリア	Syria	3.0		
主要国の計	Total	831,100	158,731	164,804

区 分		2018年	2019年	2020年
日本	Japan	トン 110	トン 92	トン 80
中国	China			
インド	India	185,560	185,143	169,345
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	3,024	3,034	
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	188,694	188,269	169,425

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture , however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2016年		2017年		2018年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	19	317	20	337	21	342
中国	China						
インド	India	21,273	354,550	22,066	367,767	25,344	422,400
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,256	20,933	1,200	20,000	1,800	30,000
タイ	Thailand	712	11,867	680	11,333	680	11,333
ブラジル	Brazil	650	10,833	600	10,000	650	10,833
ベトナム	Vietnam	523	8,717	520	8,667	680	11,333
イラン	Iran	125	2,083	120	2,000	110	1,833
北朝鮮	North Korea	365	6,083	365	6,083	350	5,833
トルコ	Turkey	32	533	30	500	30	500
インドネシア	Indonesia	4	67	2.5	42	2.5	42
ブルガリア	Bulgaria	9	150	10	167	10	167
シリア	Syria	0.3	4	0.3	4	0.3	4
主要国の計	Total	24,968	416,138	25,614	426,900	29,677	494,621

区 分		2019年		2020年		2021年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	16	268	12	204	10	161
中国	China						
インド	India	25,239	420,650	23,896	398,267		
ウズベキスタン	Uzbekistan	2,037	33,950	2,037	33,950		
タイ	Thailand	700	11,667	520	8,667		
ブラジル	Brazil	469	7,817	377	6,283		
ベトナム	Vietnam	795	13,250	969	16,150		
イラン	Iran	227	3,783	270	4,500		
北朝鮮	North Korea	370	6,167	370	6,167		
トルコ	Turkey	5	83	5	83		
インドネシア	Indonesia	2.5	42	2.5	42		
ブルガリア	Bulgaria	10	167	10	167		
シリア	Syria	0.5	8	0.5	8		
主要国の計	Total	29,871	497,851	28,469	474,487	10	161

注1 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)及びFAOの統計値を使用した。
中国は2016年以降データが取れない。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Dainippon Silk Foundation.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

The data of China has not been available since 2016.

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2021年11月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.00 ~ 147.00	2,520 ~ 2,646
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	145.00 ~ 165.25	2,610 ~ 2,975
3	玉繭(double cocoon)		123.00 ~ 136.00	2,214 ~ 2,448
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	112.00 ~ 138.00	2,016 ~ 2,484
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	437.75 ~ 441.50	7,880 ~ 7,947
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	440.00 ~ 445.75	7,920 ~ 8,024
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	434.00 ~ 440.00	7,812 ~ 7,920
8	玉糸(doupion silk)	110d	412.00 ~ 422.00	7,416 ~ 7,596
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.00 ~ 45.63	720 ~ 821
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	59.00 ~ 65.13	1,062 ~ 1,172
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	49.00 ~ 55.50	882 ~ 999
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	42.00 ~ 47.00	756 ~ 846

注:1元=18円

1CNY=18JPY

2021年12月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	138.00 ~ 145.40	2,484 ~ 2,617
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	143.80 ~ 164.80	2,588 ~ 2,966
3	玉繭(double cocoon)		122.20 ~ 135.20	2,200 ~ 2,434
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	111.20 ~ 134.80	2,002 ~ 2,426
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	433.00 ~ 441.20	7,794 ~ 7,942
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	435.80 ~ 445.20	7,844 ~ 8,014
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	428.80 ~ 436.00	7,718 ~ 7,848
8	玉糸(doupion silk)	110d	410.40 ~ 420.40	7,387 ~ 7,567
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	39.76 ~ 45.26	716 ~ 815
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.76 ~ 64.76	1,058 ~ 1,166
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.76 ~ 55.26	878 ~ 995
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	41.76 ~ 46.76	752 ~ 842

注:1元=18円

1CNY=18JPY

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2022年1月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	137.00 ~ 144.00	2,466 ~ 2,592
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	145.00 ~ 164.00	2,610 ~ 2,952
3	玉繭(double cocoon)		122.00 ~ 135.00	2,196 ~ 2,430
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	120.00 ~ 138.00	2,160 ~ 2,484
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	434.50 ~ 443.00	7,821 ~ 7,974
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	441.00 ~ 446.50	7,938 ~ 8,037
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	425.00 ~ 435.00	7,650 ~ 7,830
8	玉糸(doupion silk)	110d	410.00 ~ 420.00	7,380 ~ 7,560
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	39.70 ~ 45.20	715 ~ 814
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.70 ~ 64.70	1,057 ~ 1,165
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.70 ~ 55.20	877 ~ 994
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	41.70 ~ 46.70	751 ~ 841

注:1元=18円

1 CNY=18JPY

2022年2月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	137.75 ~ 144.75	2,480 ~ 2,606
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	145.75 ~ 164.75	2,624 ~ 2,966
3	玉繭(double cocoon)		122.00 ~ 135.00	2,196 ~ 2,430
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	127.00 ~ 140.75	2,286 ~ 2,534
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	438.00 ~ 446.50	7,884 ~ 8,037
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	444.25 ~ 449.50	7,997 ~ 8,091
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	428.25 ~ 439.00	7,709 ~ 7,902
8	玉糸(doupion silk)	110d	412.25 ~ 422.25	7,421 ~ 7,601
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	39.70 ~ 45.20	715 ~ 814
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	59.45 ~ 65.45	1,070 ~ 1,178
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.70 ~ 55.20	877 ~ 994
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	41.70 ~ 46.70	751 ~ 841

注:1元=18円

1 CNY=18JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp>

シルクレポート 2022 年 4 月号 No.73 令和 4 年 4 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL : <http://www.silk-teikei.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず